

文部科学省委託事業「人文学・社会科学を軸とした学術知共創プロジェクト」

第4回 学術知共創プロジェクトワークショップ

～将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方～

テーマ代表者: 大竹文雄 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任教授

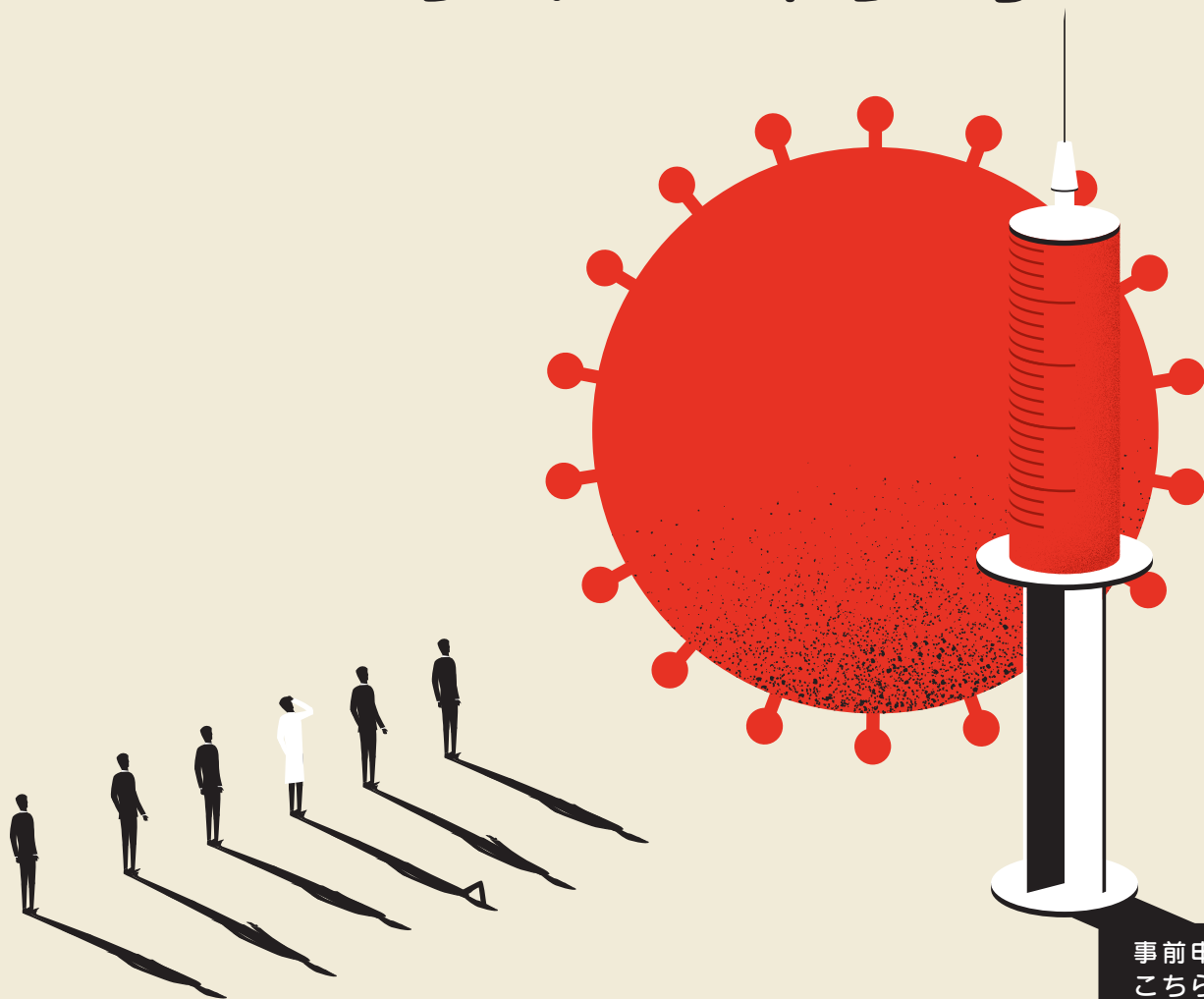


文部科学省委託事業
人文学・社会科学を軸とした
学術知共創プロジェクト



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

コロナ対策を再考する



事前申込は
こちらから

2021.08.30 Mon. 14:00-16:00

●オンライン開催 ●参加費: 無料 ●定員: 参加者20名程度 / 視聴者制限なし

新型コロナウイルス感染症は人びとの暮らしを大きく変容させました。あまりの変化に政府も現場もすぐそこにある現実の対応に追われ続けています。「感染対策」と「経済活動」をどうやってバランスさせていくのかは、政府でも民間でも大きな問題となり続けています。感染者数と政府の対応が日々ニュースで取り上げられるたびに人びとの生活は右に左に揺さぶられています。「感染対策」は、医療の問題だと思われがちですが、感染対策で救われる命もあれば、失われる命や社会的・経済的価値もあります。「ワクチン接種」についても、ワクチンパスポート、ワクチン接種へのインセンティブといった議論は、医療だけではなく、公平感、倫理観と関わり、経済問題にも関わります。ワクチン接種後の社会の在り方やビジョン提示も重要です。WSでは、パネルディスカッションで医学、経済学を主に「今」と「未来」について議論し、全体討論ではその他の学問分野からの視点を混ぜて深く考察していきたいと考えています。

▶ 参加者用 ◀
募集期間: 8/5~23



<https://form.run/@gakujututi-ws04-1>

▶ 視聴者用 ◀
募集期間: 8/5~26



<https://form.run/@gakujututi-ws04-2>



社会ソリューションイニシアティブ (SSI)
SOCIAL SOLUTION INITIATIVE

■主催 | 社会ソリューションイニシアティブ(SSI) ak-pj@ml.office.osaka-u.ac.jp

将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方 ーコロナ対策を再考するー

コロナ対策をテーマに、人びとの価値観、倫理観、人間観から様々な立場の対立構造を紐解き、社会と人間の在り方を考察する活発な議論が展開されることを期待しています。

■テーマ代表者：大竹文雄 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任教授

1961年京都府生まれ。専門は行動経済学・労働経済学。大阪大学博士（経済学）。大阪大学助手、大阪府立大学講師、大阪大学社会経済研究所教授、同大学院経済学研究科教授等を経て、2021年から現職。政府の新型インフルエンザ等対策推進会議委員を2020年からの前身となる会議の構成員から務める。

著書に『競争と公平感』『競争社会の歩き方』『経済学は役に立ちますか？』『行動経済学の使い方』など多数。



プログラム

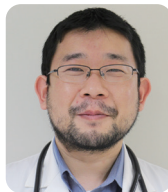
14:00 WS案内 小出直史 大阪大学SSI 特任准教授	14:20 パネルディスカッション ・小島武仁 東京大学経済学研究科教授 ・忽那賢志 大阪大学大学院医学系研究科教授 ・和田耕治 国際医療福祉大学大学院医学研究科教授 ・安田洋祐 大阪大学大学院経済学研究科准教授
14:05 開会挨拶 堂目卓生 大阪大学SSI長／プロジェクトマネージャー	15:30 全体討議
14:10 イントロダクション 大竹文雄 大阪大学感染症総合教育研究拠点特任教授	15:55 閉会挨拶 大竹文雄

パネルディスカッション | パネリスト



小島武仁
Kojima Fuhito
東京大学大学院
経済学研究科
教授

経済学者。1979年生まれ。東大学士、ハーバード大博士。スタンフォード大教授を経て2020年より東大経済学部教授、東京大学マーケットデザインセンター(UTMD)所長。専門分野は、人と人や、人とモノ・サービスを適材適所に引き合わせる方法を考える「マッチング理論」と、社会制度の設計や実装につなげる「マーケットデザイン」。



忽那 賢志
Kutsuna Satoshi
大阪大学大学院
医学系研究科
教授

感染症専門医。国立国際医療研究センターを経て、2021年7月より大阪大学医学部感染制御学教授。感染症全般を専門とするが、特に新興感染症や新型コロナウイルス感染症に関連した臨床・研究・啓発に携わっている。



和田 耕治
Wada Koji
国際医療福祉大学
大学院医学研究科
教授

医師・医学博士・労働衛生コンサルタント・産業保健修士・日本産業衛生学会指導医・社会医学系専門医協会指導医・日本体育協会認定スポーツ医。2000年に産業医科大学医学部卒業。北里大学医学部公衆衛生学准教授等を経て、2018年より国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教授・医学系大学院教授。専門は公衆衛生、産業保健、健康危機管理、感染症、疫学。日本産業衛生学会奨励賞など受賞多数。

パネルディスカッション ファシリテーター



安田 洋祐 Yasuda Yosuke
大阪大学大学院経済学研究科 准教授

東京大学経済学部卒。米国プリンストン大学にてPh.D.を取得。政策研究大学院大学助教授を経て2014年4月から現職。専門は戦略的な状況を分析するゲーム理論。主な研究テーマはマーケットデザイン。学術研究の傍らマスメディアを通じた一般向けの情報発信や、政府での委員活動にも積極的に取り組んでいる。